



伊豆市

# 議会だより

No.47

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会広報委員会  
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 **2016.2.1発行**



中伊豆中学校 百人一首大会

中伊豆中学校では、毎年、年明けの恒例行事として百人一首大会を行っています。1年生から3年生の全校生徒が5～7人の26グループに分かれ、冬休み中に覚えた百人一首で競い合いました。

## 目次 CONTENTS

■ 議長新年のあいさつ .....	2
■ 12月定例会の概要 .....	3
■ 一般質問 .....	7
■ 11月臨時会・意見書 .....	10
■ 伊豆市議会「みんなで語る会」報告 .....	11
■ 3月定例会の予定等 .....	12

# 新春のごあいさつ



伊豆市議会議長  
杉山 誠

あけましておめでとうございます。  
二〇一六年の開幕から早くも一  
カ月になりますが、皆様におかれ  
ましてはますますご健勝のことと  
拝察申し上げます。

また日頃より、市議会に対する  
ご理解、ご協力を賜り誠にありが  
とうございます。

さて、市民の皆様にとってより  
身近な存在として、市議会は皆様

の思いを市政に反映させ、伊豆市  
の発展と市民の生活・福祉の向上  
を目指すべく、「議会基本条例」  
の制定に向けて準備を進めており  
ます。

この条例では、議会及び議員の  
基本的な責務はもちろん、議員提  
案による条例の制定等、独自の政  
策立案・政策提言に積極的に取り  
組むことや、市民への説明責任を  
果たすとともに多様な意見を拝聴  
し、市政の諸課題に柔軟に対応す  
るために、報告及び意見交換の場  
として議会報告会を行うことも定  
めています。

議会報告会については、基本条  
例の制定に先立って、昨年十一月  
に議会改革特別委員会の主催で  
「みんなで語る会」を開催いたし  
ました。当日ご参加いただきまし

た皆様からは、貴重なご意見・ご  
提案を聞くことができ、大変あり  
がたく感じています。

さらに市民参加、市民との連携  
を強めるために、参考人制度や公  
聴会制度を積極的に活用していく  
ことで、より信頼される議会を目  
指して改革を進めてまいります。

昨年は、二〇二〇年東京オリ  
ンピック自転車競技会場が、大野に  
ある日本サイクルスポーツセンタ  
ー（伊豆ペドロドーム）に決定し、  
天城北道路も平成三〇年度開通に  
向けて工事が順調に進められてい  
ます。

観光交流客の増加もさらに見込  
まれる中、この好機を市政の発展  
につなげていけるように議会も全  
力で働いてまいります。

今後とも市民の皆様のご指導ご  
鞭撻を賜りますようお願い申し上  
げますとともに、皆様にとって幸  
多き年となりますようお祈り申し  
上げます。

## 議会広報委員が 変わりました

「議会だより」をはじめ、  
FM・RSの活用や議会ホー  
ムページによる広報の充実に  
努め、市民の皆さんの市  
議会及び市政への関心を高  
めるため、市民の皆さんの  
意見を積極的に取り入れた  
広報活動を進めていきます。  
1年間、どうぞよろしく  
お願いします。



委員長 大川明芳  
副委員長 森良雄  
小長谷朗夫 西島信也  
三田忠男 山田元康

# 平成27年度 一般会計の総額は、 170億7,725万円 になりました。



## 平成27年 12月定例会

平成27年12月定例会を、11月30日から12月17日まで18日間の会期で開催しました。補正予算4件、条例関係4件、その他8件、意見書1件を原案のとおり可決しました。

### 平成27年度補正予算

#### ◆一般会計補正予算（第4回）

定住者の増加に伴う定住促進事業補助金、3歳未満の待機児童解消に係る熊坂こども園改修工事、生活保護受給者の医療費増加に伴う医療扶助、インフルエンザワクチンの3種類から4種類への移行に伴う高齢者インフルエンザ予防接種委託料、県道拡幅工事に伴う佐野・雲金消防ポンプ置場建設工事など、総額2億6千980万円を増額するもの。

#### ◆一般会計補正予算（第5回）

12月9日、2020年東京オリンピック自転車競技の一部種目について、伊豆市での開催が決定したことを受け、受入体制や大会運営に係るサポート体制の現状を確

認し、オリンピック開催に向けての課題を見出すために、来年3月に予定されているリオデジャネイロ五輪テスト大会の視察に係る旅費など総額300万円を増額するもの。



▲伊豆ベロドローム（自転車競技場）

### 条例の制定

◆伊豆市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定

番号法の規定により地方自治体が個人番号を独自に利用できる事務を新たに条例で制定するもの。

### その他

◆奥山大野辺地総合整備計画について

この地域を通っている市道の1級路線大平柿木線は、狭隘箇所が多く、また、曲線部分もあることから、バス路線の運行に悪影響が出ている状況です。

この状況を改善する道路整備を進めるための「奥山大野辺地に係る総合整備計画」（平成28年度から平成30年度までの3カ年）を策定し、議会の議決を経て国に提出するもの。

◆公の施設の指定管理者の指定について（持越オートキャンプ場）

指定期間が平成28年3月31日を以って満了するため、公募によらない指定管理者の候補者として、一般社団法人持越報徳社を引き続き、指定するもの。

◆公の施設の指定管理者の指定について（修善寺体育館・修善寺グラウンド）

指定期間が平成28年3月31日を以って満了するため、公募によらない指定管理者の候補者として、特定非営利活動法人伊豆市体育協会を引き続き指定するもの。

議案

チェック

委員会の議案審査で、次のような質疑がありました

## 第1委員会

## ◆一般会計補正予算(第4回)

**問** ふるさと納税の状況と返礼品にゴルフ場利用券や旅館等の感謝券を追加する考えは。

**答** 12月3日現在で666件、1千553万8千円の寄付申込みがありました。返礼品の選定につきましては、産業力強化会議準備会にお願いしていますが、今後はご指摘の利用券なども検討し充実を図っていきます。

**問** 定住促進事業補助金の今年度の実績とこれまでの年度別実績を聞きたい。

**答** 現時点で36件の補助金を交付しています。その内、市内者26人が該当し、市外からの転入は10件29人となっています。これまでの実績については、平成25年度

は38件、平成26年度も38件という状況です。

**問** DMO構築支援業務とは、どこを支援するのか。そして、なぜ補正予算で対応しなければならぬのか。

**答** 来訪者の実態調査や市場環境調査に基づき、観光政策の立案や事業立案のできる人材を育成することを目的として、今年度12回、平成28年度に9回の研修を予定しています。また、産業力強化会議の平成29年度予算や事業立てをするために、平成28年8月までに研修を修了させて取り組んでいきたいと考えています。

※ Destination Marketing / Management Organization の略で、地域全体の観光マネジメントを二本化する、着地型観光のプラットフォーム組織

**問** 津波防災推進計画策定業務委託というのは、どのようなことを委託するのか。

**答** 伊豆市の中長期的な津波対策に特化したハード、ソフト事業を多重防衛的に進めていく計画です。今後、国費を投入する事業につい

ては、この推進計画と津波警戒区域、特別警戒区域の指定が必要条件となることもあります。また、計画の策定については、協議会により学識経験者の意見や地元との合意形成を経て作成する予定です。

## ◆市道路線の変更について

**問** 横瀬大平線の拡幅工事による歩道は歯医者さんの所で止まっているが、ここで終わるのは当初からの予定であったのか。

**答** この道路計画は現在の湯川橋の幅員が非常に狭く歩行者も危険であることと、川の真ん中に橋脚があり、河川断面を侵しているため氾濫が起る可能性があること、また、国道との交差点も出にくい状況であるということとで計画したもので、歯医者さんから大平方面についてはこれからの考えになります。

## 第2委員会

## ◆一般会計補正予算(第4回)

**問** こども医療費助成金について、金額が増額になったのは、何か特別な要因があったのか。

**答** 未就学児の入院費が、前年度に比べ300万円ほど多くなりました。

**問** 熊坂こども園改修工事の完成はいつごろか。

**答** 年度内の完成を目指しています。園児が使用する場所の工事を優先し、4月から使用開始できるように進めたいと考えています。

**問** 生活保護扶助費、医療扶助について、1億1千500万円増の理由についての説明と生活保護受給者への検診受診勧奨はどのように行っているのか。

**答** 当初の見込みより、入院のが増えました。特に、今まではなかった癌の治療や治療期間が長期化するケースが増えたことが主な理由です。また、受給者の58%以上が高齢者で、ひとり暮らしの方も多く、ケースワーカーが訪問活動をしながら、受診を促しています。しかし、現状は職員不足で、訪問活動が十分にできていません。重篤にならないよう早めの受診勧奨をするためにも、訪問活動を充実させていきたいと考えています。

討 論

◆一般会計補正予算（第4回）

反対討論

（森 良雄議員）

6件の教育部所管の債務負担行為については、入札で決めるそう  
で、評価できます。透明な入札を  
お願いします。

地域づくり推進事業で980万  
円の追加です。地域づくりと言  
いながら、定住促進と言いな  
がら、実態は市内からの移住が大半で  
す。ふるさと納税謝礼品400万  
円ですが、謝礼品の選択、送付に  
四苦八苦です。なぜか考えたこと  
がありませんか。私たちのまちは謝  
礼品をつくる努力が先です。継続  
費補正のDMO構築支援業務は27  
年、28年度にわたりますが、単  
なる講演会で意味のある事業では  
ありません。効果のある事業では  
ありません。

賛成討論

（永岡 康司議員）

民生費のことも医療費の助成、  
保育園・こども園の運営費負担金、  
熊坂こども園改修工事等、子ども  
たちが安心・安全・快適に暮らす  
ための補正予算であって、必要不  
可欠であると考えます。

商工観光費DMO構築支援業務  
委託料273万円は、観光地間の  
国際競争力が激しさを増す中で、  
魅力ある観光地を形成するために  
は、地域の戦略的な計画策定を進  
めていくための環境整備と人材育  
成は重要なことと考えます。  
本補正予算は、快適で安心・安  
全なまちづくり、将来の伊豆市の  
方向をめざす総合戦略的な予算で  
あると思います賛成討論とします。

反対討論

（西島 信也議員）

私が反対するのは、DMO構築  
支援業務委託料273万円の支出  
予算です。

DMOとは、地域を一つの観光  
集客装置と見立て、観光関係者だ  
けでなく、農業や漁業などの異業

種や地域の方を巻き込んで、観光  
まちづくりを図るといふもので  
す。

それには、新たな組織体と新た  
な観光振興計画の作成は、必要不  
可欠だが、私の質疑に対し市は「そ  
の二つは考えていない。」とのこ  
とで、「1回10万円の講師を21回  
呼び、講義を行う。」との答弁で  
ありました。

これではDMO構築支援の効果  
は全くなく、何の目的か不明であ  
り、無駄遣いもはなほだしい。

賛成討論

（大川 明芳議員）

治療のための入院の方が多くな  
ったこと、治療が長期化したこと、  
生活保護の受給申請が増えたこと  
の生活保護費に。今後も増加が見  
込まれる乳幼児の待機児童等の保  
育需要に対応するため、こども園・  
保育園運営費負担や保育施設の整  
備を行うための児童福祉費に。

医療扶助やこども医療費助成、子  
育て支援や福祉等の更なる充実を  
図ること等、民生費を主としたも  
のです。伊豆市の経済活性化の経  
費を含む本補正予算の執行にあた

っては、より市民にとって効果的  
なものであると評価するところで  
あります。

賛成討論

（木村 建一議員）

DMO（目的管理組織）構築支  
援業務委託事業について意見を述  
べます。提案内容は研修の委託で、  
具体的な組織づくりではないこと  
を理解しました。「住民や企業な  
どが、地域資源を生かした経済活  
動である観光を手段としながら持  
続可能で経済的に維持できる地域  
社会を来訪者と連携しながら作り  
上げる」という観光まちづくりの  
視点で、人事育成の研修をする。  
ハードルの高い観点からの事業に  
取り組むための研修に注目してい  
ます。

新たな提案内容（例・DMO）  
には、目的と必要性をしっかりと  
位置づけることを望みます。

## 平成27年第4回（12月）定例会で審議した議案

### ■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡康司	三田忠男	小長谷朗夫	山下尚之	山田元康	青木靖	大川明芳	梅原正次	小長谷順二	西島信也	森島吉文	室野英子	森良雄	飯田正志	木村建一
予算																
平成27年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
平成27年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
意見書																
少人数学級の推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※1 ○賛成 ×反対  
 ※2 議長（杉山誠）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

### ■全会一致で可決した議案等

平成27年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）	市道路線の廃止について
平成27年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第2回）	行政不服審査会の共同設置について
伊豆市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について
伊豆市職員の再任用に関する条例の一部改正について	駿東伊豆地区消防救急広域化協議会の廃止について
伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	奥山大野辺地総合整備計画の策定について
伊豆市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	公の施設の指定管理者の指定について（持越オートキャンプ場）
市道路線の変更について	公の施設の指定管理者の指定について（修善寺体育館・修善寺グラウンド）

## 意見書

少人数学級の推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書（要旨）

12月定例会で採択し、関係機関へ送付しました。

三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度における国の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられました。その結果、地方自治体の財政は圧迫され、正規教職員が増大する等、教育条件の地域間格差が広がっています。全国のすべての地域のすべての子どもたちが一定水準の教育を受けられることは、憲法においても明らかに保障されているものです。よって、次の措置を講ずるよう強く要望します。

1 学級編成標準を引き下げ、35人学級の制度化を早期に実現すること。

2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るために、義務教育費国庫負担割合を2分の1に復元すること。

#### 【提出先】

衆議院議長 参議院議長  
 内閣総理大臣 内閣官房長官  
 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣



9人の議員により24件の質問がありました。そのうち、それぞれ1件についてお知らせします。(要約・質問順)

質問

**障害がある児童生徒こそ、最適な就学環境**



(三田 忠男議員)

特別に配慮を必要とする児童生徒の就学支援について伺います。子育て支援と保護者の就業支援は、伊豆市の重要課題であります。特に、特別に合理的配慮を必要とする児童生徒には、障害等の早期発見、治療、療育、保育、特別支援教育の充実、通学等医療から福祉分野にまたがる各種支援が必要になります。伊豆市としての取組みを伺います。

**市長答** **早期発見と総合的支援の充実**

早期発見システムについては、妊娠中からの検診、相談、訪問などあらゆる機会での発見が想定されます。また、療育保育システムですが、医師による診断、臨床心理士、保健師などの相談支援及び医療機関にも繋がっています。保育支援についても園児の状況調査、母子保健の支援状況、入園児などで判断し、必要に応じて加配職員の配置する体制をとっています。

**市長答**

未就学児については、就学支援委員会会の充実や、児童・生徒については、該当校に特別教育支援員の配置、経済的負担の軽減措置も実施しています。

質問

**それは官製談合です**



(森 良雄議員)

田代のし尿処理場は官製談合で建設されました。品確法は品質を確保するためのものです。品確法には業者の知的財産を守れとは書いてありません。閣議決定文書には、入札を不開示にするものではありません。

**市長答** **「知的財産の保護に配慮」と言葉がある**

し尿処理については、担当課から閣議決定文書を森議員にお渡ししております。既にお渡しした閣議決定文書を森議員がお持ちかどうか確認させていただきます。閣議決定文書の中に「知的財産の保護に配慮し」という言葉があります。読んでください。

質問

## 「邑のにぎわい創生」で支所の役割重視を



(木村建一議員)

地域づくりにとつて、地域住民と行政の連携強化が必要です。天城支所の位置をどう

するのか。市民の行きやすさを考慮すること、住民との合意が大切だと思いますが所見を伺います。

新中学校の再編・統合にかかわって中伊豆、天城地区の「にぎわい創生」の具体的方針を伺います。

市長  
市答

## 区長と協議中（支所機能を旧湯ヶ島小に移転）

各区長と旧湯ヶ島小への移転について協議中です。支所機能を固定化せず書類発行業務はコンビニにお願いしてもよいと思います。

地域づくりや防災等の協議機能は支所が担うものと考えます。

にぎわい創出については、まち・ひと・しごと総合戦略で、邑のにぎわい創生プロジェクトを立ち上げます。天城湯ヶ島については、天城北道路の進捗も含めてもう少し時間をかけて検討したいと思います。

質問

## 人口減少対策におけるU・イターンの促進



(小長谷順二議員)

伊豆市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンで定めた、将来人口の目標を達成するため

には、移住・定住の促進による、社会増の実現が極めて重要であります。

伊豆市の移住・定住促進対策における、Uターン・イターン促進の位置づけや、取り組みの方針について伺います。

市長  
市答

## 情報提供の強化に努めます

各部署で実施する定住に向けた子育て支援や住環境の整備を初めとするいろいろな情報に元的に対応する移住定住情報のワンストップ窓口化を進めます。市役所窓口での転出者の転出先や理由の分析の実施、また状況が許せば転入者の方々への転入理由の把握も考えていきたいです。

また、インターネットを使ったり、既に技術をお持ちの方に定住をしていただく場合、先進事例のような提供する空き家の実態がなく、今後戦略的に情報提供できる体制強化に努めていきます。

質問

## 重要事業の計画等の説明のあり方



(青木 靖議員)

現在伊豆市では、少子高齢化や人口減少等による様々な課題に対応するため、各種の重

要な取組みが行われています。

そうした市が行おうとする事業について、基本的な考え方や目指す方向が、市民に十分わかるようにするために、情報の伝え方を変えていく必要があると思いますが、もっと上手に重要な情報を伝える方策を検討しませんか。

市長  
市答

## 広報戦略会議というチームを作りました

伊豆市の広報のあり方、シティープロモーションのあり方というものが、しかるべき水準に達していないと認識をしています。今、伊豆市のホームページを見ましても、行政文書が多々載っているだけという状況で、市民の皆さんが開いた場合に探しくく読みにくいというのは市長として恥ずかしく感じているところです。現在、広報戦略会議というちよつと小さいチームを作って、発信の仕方というものの見直しをさせているところです。

**質問**  
薬物乱用防止に  
向けた取り組み



(大川 明芳議員)

厚生労働省は、平成24年に「合法ハーブ等と称して販売される薬物に関する当面の薬物乱用防止対策」を策定し、薬物乱用防止教室や広報啓発等を推進しています。危険ドラッグは簡単に入手できる薬物で、死亡事故や健康被害が発生しています。現在、市内の小・中学生に対する啓発強化や薬物教育について、どのような施策をしていますか。

**長弁**  
現在市内小・中学校で  
教育 年一回薬学講座を開催

市内小学校では高学年を対象に、また中学校では学年ごとに年一回の薬学講座を開催、たばこや飲酒、薬物乱用教育に関する事柄について、警察、薬剤師、ライオンズクラブの支援をいただいで、取り組みをしています。

**市長**  
市 答

以前市内にも一件販売している所がありました。が、今は撤収しました。県の活動と合わせて、薬物乱用防止ポスターの掲示など、二度と市内に危険ドラッグの販売が出来ないよう監督官庁としっかり連携をとっていききたいと思えます。

**質問**  
天城、中伊豆はなぜ  
小中一貫ではないのか



(西島 信也議員)

第2次学校再編計画によると、「土肥地区においては、平成29年4月に小中一貫校として再編開校し、義務教育9年間の連続した学びや、地域と連携した特色ある教育活動を推進する。」としている。

大変結構な施策であると思うが、それではなぜ天城、中伊豆では小中一貫校を導入できないのかお尋ねします。

**長弁**  
子どもたちに最良の  
教育 学習環境を提供

今、中学校では教科担任の不足の解消と部活動をより充実させていくことが課題となっています。

土肥地区については、通学負担、地域活動を通じたつながり、園児から高校生までの交流などから、小中一貫校の再編が最適として、取組んでいます。

修善寺、中伊豆、天城の3中学校は、1校にすることが可能と判断いたしました。先に申しました中学校における課題の解消に向け、再編を進めているということです。

**質問**  
コンパクトタウン  
& ネットワーク構想とは



(山下 尚之議員)

公共交通機関ネットワークの充実を図るため、自主運行バスの見直しを行い、その補助金5千300万円を他施策(デマンド交通等)に変換利用し、買い物・医療難民等の解消を図り、住み続けられる環境づくりを構築するお考えはありませんか。

※デマンド交通

電話予約など利用者のニーズに応じて、柔軟な運行を行う公共交通の一形態

**市長**  
市 答  
地域住民や交通事業者  
と共に検討する

今後も進む人口減少により、現在の公共交通を路線バスのみで維持していくことは、さらに困難になる可能性が考えられます。

バス路線維持のために、各種利用促進策を継続して実施するとともに、バスに代わる交通手段やその選択に当たっての考え方を整理し、地域住民や交通事業者と協議の上、具体的に検討していききたいと考えています。

## 質問

児童生徒を取り巻く  
諸問題とその改善策

(小長谷朗夫議員)



伊豆市の児童生徒を取り巻く諸問題については、今までも議会の中で取り沙汰されてきました。平成28年度の予算編成時期に当たり、少しでも反映させるために次の件についてお尋ねします。

① いじめ・不登校の実態と改善策、② 洋式トイレ・エアコンの設置充足について、③ 単位子ども会の実態と問題点

長弁  
教育  
教答努力しております。  
お知恵をいただきたい。

① いじめは減少傾向にあります。教職員が早期発見、早期対応に取り組んでいます。また、定期的にアンケート調査や面談、心理検査等も実施しています。不登校の児童生徒数は平成24年以降増加しています。欠席が長期化する前の対応と小中が連携した対策が必要であると考えます。② 洋式トイレの設置状況は、小学校で54・1%、中学校で20・8%です。エアコンの設置状況は、普通教室は7・7%、図書室・音楽室等は21・2%です。③ こども会は、現在は83から53まで減少しています。今後も存続に向け、知恵をいただきながら市として支援してまいります。

## 平成27年 第3回臨時会

11月2日、平成27年第3回臨時会を開催し市長から提出された議案2件について、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 条例の制定

◆伊豆市特別職の職員の給与の特例に関する  
条例の制定

市長及び副市長の給料について、12月1日から1カ月間、給料の額から100分の10を減じようとするもの。

度重なる職員による交通事故・違反について、職員の全体の管理をつかさどる市長、副市長の責任を明確にし、市民の皆様には謝罪申し上げます。職員の意識改革と規律の向上に改めて取り組むこととし、給料の減額をお願いするもの。

◆伊豆市特定教育・保育施設及び特定地域型  
保育事業の保育料に関する条例の制定

平成28年4月から、市内の認定こども園、保育園の保育料を、子ども・子育て支援新制度に基づく料金体系に移行するために条例の制定をするもの。

また、当該条例を制定することに伴い、伊豆市保育所条例及び伊豆市立認定こども園条例の一部改正をするもの。

平成27年度  
会派の議員派遣報告

森 良雄議員（無会派）

〔派遣日〕 10月27～29日

〔視察先〕 鹿児島県霧島市他

〔目的〕

- ・ 日本ジオパーク全国大会霧島大会視察
- ・ 国内の各ジオパークの活動状況の視察
- ・ 霧島のジオサイトの視察

〔研修内容〕

この大会で見えてきた特徴は、ジオパークの活動の方向性（ユニバーサルデザイン・保全・教育のスタンダード化・目指す方向性・ジオパークと防災）の統一とユネスコの考え方、国内の考え方の情報収集と組織への加入が求められていることです。

高千穂峰ジオツアーは、標高1千574mの霧島を堪能できるツアーです。山頂直下の火口の稜線は狭く、細かな火山灰の山で、溶岩でごつごつしていました。大会の参加者について、年々増えてきているため、来年の伊豆半島大会では、1万人を超える予想されます。

# 「みんなで語る会」(議会報告会)を開催しました

伊豆市議会では、「開かれた議会」「住民が参加する議会」を目指し、議会改革特別委員会を設置し、「議会基本条例」の制定に向けて検討を進めています。また制定に向けて、条例案へのご意見をうかがうとともに、市政及び議会活動について市民の皆様にご報告し、ご意見や提言をいただくため、平成27年11月5日(木)に「みんなで語る会」を開催しました。

伊豆市議会として、初めての試みでしたが27名の方にご参加をいただき、議会や市政についてたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。



## 1. 議会基本条例(案)について

- Q** 「第5章の討論の拡大」について、詳しく説明してほしい。
- A** 条例で定めることによって議員同士での議論を可能にし、市の政策について議論の質を上げ、正しい方向へ導くことができると考える。全国の先進地事例を参考に試行錯誤して行っていきます。
- Q** 議会改革の考え方として、独自に情報公開の必要性を感じたのか。それとも、議会改革度調査結果上位が良いと思ったのか。
- A** 上位を真似するのではなく、地理・産業構造等の条件が合ったところを参考として、議会として市民の意見を聞き、政策へ反映するために取り組むことが重要であり、その結果を報告し、繰り返し意見を伺っていくことに取り組んでいきます。

## 2. 平成26年度決算概要について

- Q** 収穫祭の支援とは、具体的にどのような支援か？
- A** 平成27年9月定例会では「平成27年度収穫祭については、支援をするため検討している。」という説明がありました。
- Q** 収穫祭の平成26年度決算400万円に対し平成27年度予算500万円の使い方について。
- A** 平成27年度予算の説明では、「JA伊豆の国と共同で『This is 収穫祭&JAまつり』を開催する。」という説明がありました。平成26年度決算の説明では、「決算額は400万円。事業成果としては、来場者は8,000人、平成27年度は合併10周年を区切りに事業の見直しを図ることとし、今年度からは地域で頑張っている事業に支援をするため検討している。」という説明を受けました。

## 3. 「みんなで語ろうわがまちを」(意見交換)

### ①産業振興について

- ・近隣他市町に比べて政策の実行が遅い。(ふるさと納税・女性消防団等)
- ・地域づくり協議会でもふるさと納税を推進することで、返礼品に感謝券を追加してほしい。
- ・地域づくり協議会に助成金が欲しい。

### ②防災・建設について

- ・オリンピック・パラリンピックを見据えた道路整備を。
- ・空き家・放置された家屋の対策を。
- ・市街化調整区域の見直しはどうなっているのか。

### ③福祉医療について

- ・自動車の運転ができない高齢者への配慮と対策を。
- ・買い物移動販売車の運行を行政で管理してほしい。
- ・バス利用を進めるにしても、バス停まで歩くことが大変。

### ④教育・子育てについて

- ・中学校の統合よりも小中一貫教育の推進を。
- ・中学校までの医療費助成を拡充してほしい。
- ・伊豆市の文化・伝統芸能を子どもたちへ伝承してほしい。

### 伊豆市議会基本条例(案) 伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例(案) に対する意見募集結果について

市民の皆様からいただいた意見は次のとおりです。意見に対しての議会の考え方については、ホームページに掲載しています。貴重なお意見ありがとうございました。

#### 基本条例(案)について

- 先進地視察もよいが、地域・団体・企業・産業等の市民の声を聞く勉強会・研修会を開催することを定めてほしい。
- 条例を制定するだけでなく、意識改革も必要かと思う。
- 議場では議員個人の意見だけでなく、市民の代表として民意をすい上げて、建設的な発言をお願いしたい。
- 本当の市民の声を聞くということとは容易なことではないと思うが、今後の議会活動に期待する。パフオーマンスでない品位ある議会を望む。

#### 政務活動費の交付に関する条例(案)について

- 視察と称した旅行や他を批判するため新聞発行などではなく、市や市民に還元できる使い方をしてほしい。報酬が1万円アップすると実質2万5千円のアップになるのは理解しがたい。  
※報酬の1万円増額については、報酬審議会からの答申であり、決定したものではありません。
- 政務活動費の有効性を実感させるような政策提案を。
- 政務活動費として認められる経費は、「市政に反映させる活動」「住民福祉の増進を図るために必要な活動」に要する経費となっているが、その判断や審査はどのようにするのか。

#### その他

- 市長選と市議選を同時にやって、経費削減することを考えないのか。

### 議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。  
(議会事務局0558-72-9906)

#### 3月定例会の予定

場 所	本庁2階 議場
時 間	午前9時30分～
2月16日(火)	行政報告 議案上程
19日(金)	一般質問
22日(月)	一般質問
24日(水)	議案質疑
3月11日(金)	委員長報告・ 質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますのでご了承ください。

#### 3月定例会の予定

#### 委員会の予定

場 所	本庁2階 委員会室
時 間	午前9時30分～
2月25日(木)	第1委員会
26日(金)	第2委員会
29日(月)	第1委員会
3月1日(火)	第2委員会

### 編集後記

議会の会期中に東京オリンピックの自転車競技が伊豆市のサイクルスポーツセンターで行われることが決まり、報道されました。

湯川橋の道路も先が見えてきました。さて、歩道は途中で切れたままです。

いずれもしつかりと、先を見据えて計画を立てる必要があります。何をすべきかよく考えたものです。

議会広報副委員長

森 良雄